



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会

2010年（平成22年）7月15日号 No. 1501

目次

■マガダン州プレゼンテーション	1
■トピックス	8
三菱自、プジョーのロシア工場竣工式／8	
千代田化工がサハリンで設計業務サービス／8	

マガダン州プレゼンテーション

はじめに

6月22日に、ロシア極東からドウドフ知事を団長とするマガダン州の代表団が来日し、在日ロシア大使館にて、日本向けにプレゼンテーションを実施した（マガダン州行政府と在日ロシア大使館が主催、ロシアNIS貿易会とジェットロが後援）。

マガダン州はロシア北東部のオホーツク海に面した面積46.2万m²、日本の1.2倍強の広大な面積の地域である。鉱物資源が豊富に埋蔵し、1928年の開発開始以来、採掘量は金：3,000 t以上、銀：7,000 t以上、錫：7万2,200 t、石炭：約8,200万 tに達し、同州の経済は、鉱物資源の採掘・加工と燃料・エネルギー部門および水産業が中心である。マガダン州は、貴金属の採掘・加工分野に外国投資を誘致してきた経験があり、同州には、「Cyprus Amax Minerals」や「BHP Billiton - United Minerals」などの外資系企業が進出している。

今回の速報では、本プレゼンテーションで披露された配布資料の一部を、鉱物資源に関する報告を中心に、簡単に紹介する。配布資料全体をご覧になりたい方は、下記のアドレスからダウンロードしていただきたい。なお、事前の案内では、ミハイル・コトフ太平洋水産会社社長の報告「水産分野での協力の可能性」が予定に入っていたが、同氏の訪日がキャンセルされ参加していないことが当日判明し、水産分野のプレゼンテーションは実現しなかった。期待をして参加をされたたっていた水産関係の参加者には、深くお詫びをする次第である。

（構成：高橋 浩）